

柏市産業振興会議

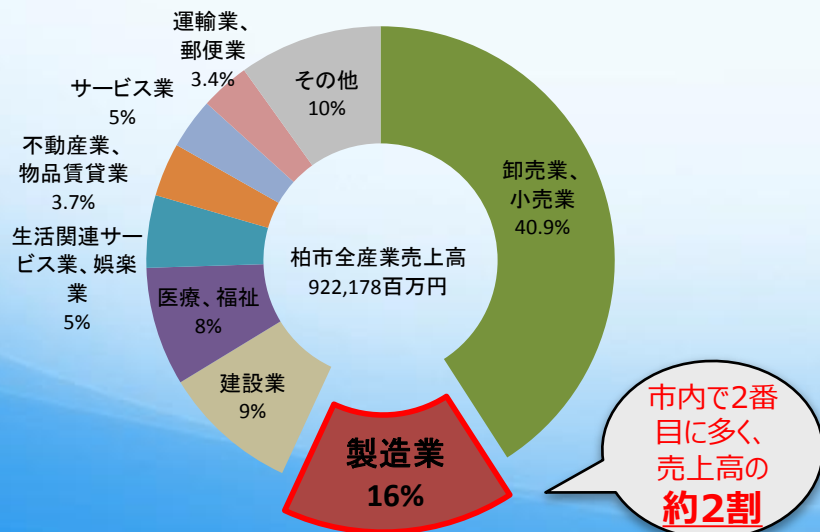
**調査趣旨および
調査手法について**

- ◆現在、柏市では製造業分野における事業所数や従業員数の減少、また商業分野では駅前百貨店の撤退や郊外型大規模店舗の進出による商店街や個店を取り巻く環境は厳しさを増しつつある。
- ◆本市として、既存企業や店舗に対する有効な支援策を講じるため、有識者や事業者、市民による審議会（産業振興会議）を開催し、施策に資する意見を聴取したい。
- ◆特に本年度は、年度末まで3回の会議を開催し、製造業を中心とする工業分野の課題解決を図るため、産業構造分析調査をテーマとして検討を進める。

※なお商業分野については、別途、商圈調査として、事業者へのヒアリング調査等を実施中

✓ 製造業は、柏市の基幹産業のひとつ

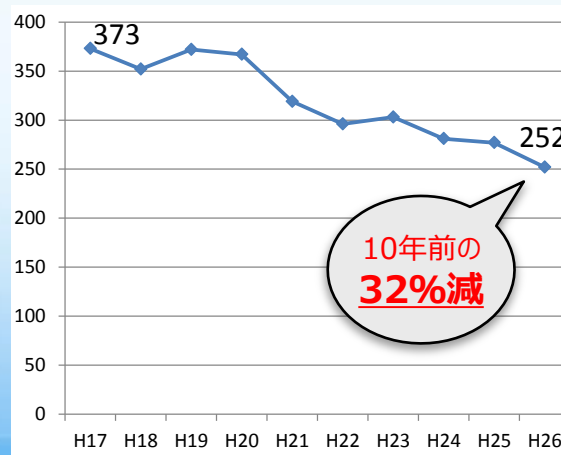
[柏市の全産業の売上高のシェア（H24）]



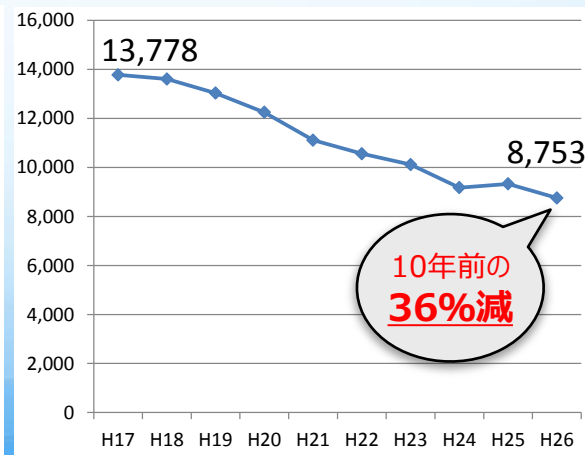
✓ 事業所数、従業員数は減少傾向が続く

[柏市の製造業分野の事業所数、従業員数の推移]

▼ 製造業分野の事業所数



▼ 製造業分野の従業員数



- ◆ 柏市第五次総合計画では、市内産業の目指すべき方向性のひとつとして「魅力ある産業が活躍するまちをつくる」が掲げられ、①魅力的な産業・事業所の育成、②付加価値の高い企業の戦略的誘致が目標として設定されている。
- ◆ 上記の目標達成のためには、市内の既存企業が取り組むべき成長分野（産業トピックス・技術トレンド）を把握し、ビジネスパートナーとなり得る親和性の高い企業を誘致するため、市内産業の実情（構造）を把握する必要がある。
- ◆ そこで、本調査では、以下の事項を明らかにすることを目的として調査を進めるものとする。

【本調査で明らかにしたいこと】

- ① 国内外における成長産業および技術トレンド
- ② 市内産業の実情
 - ・ 定量データに基づく製造業分野の産業構造分析
 - ・ アンケート調査による現状の問題・課題等の分析 など
- ③ 市産業の発展に資する技術分野と成長要素
 - ・ 今後市内企業が取り組むべき成長分野
 - ・ 誘致すべき産業 など

(1) 市外経済の動向分析

主に文献調査より、以下の事項について整理・分析する。

- ①国および県等の政策動向（成長産業、重点政策など）
- ②諸外国における産業トピックス、技術トレンド（米国、EU、新興国など）

(2) 市内経済の動向分析

1) 産業関連の動向（概況および政策）

主に文献調査より、以下の事項について整理・分析する。

- ①市内の産業政策（関連計画）
- ②主な関連プロジェクトの動向

2) 定量データに基づく市内産業構造分析 ※第1回会議では中間報告

国が提供する「地域経済分析システム（RESAS（リーサス））」等を活用し、以下の事項について、全国や製造業が強い地域との比較等より、柏市の産業構造の分析を行い、特性、強み・弱み等を把握する。

- ①市内で稼いでいる産業（付加価値、労働生産性など）
- ②市内経済を支える産業（市外取引の多い産業、市内取引の多い産業など）
- ③市内経済の循環の高い産業（新たな需要の影響が大きい産業など）

第1回
会議

(本日)

第2回
会議

(2月中旬予定)

3) 市内製造業の取組・意向把握のためのアンケート・ヒアリング

市内製造業者を対象にアンケート・ヒアリング調査を実施し、現状の問題・課題、今後取り組む意向のある技術分野、取り組む上での障壁等を把握・分析する。

[アンケート調査の概要（案）]

対象：市内製造業者 400社程度
時期：12月下旬配布、1月中旬回収
手法：郵送配布、FAX等にて回収
内容：現状の問題・課題
今後取り組む意向のある技術分野
取り組む上での障壁 など

[ヒアリング調査の概要（案）]

対象：市内製造業者 5社程度
時期：1月
手法：訪問・対面ヒアリング
内容：定量データ分析等より抽出した
市内の主要産業・企業に対して
アンケート内容を深掘りするための
ヒアリングを実施

第2回
会議

(2月中旬予定)

(3) 市産業の発展に資する技術分野と成長要素の抽出

国内外の成長産業、市内の産業動向等を踏まえて、今後市内企業が取り組むべき成長産業、市の産業に適した技術分野と成長要素について検討する。

また市外から誘致すべき産業とそのための支援策等について検討する。

第3回
会議

(3月下旬予定)